



学薬のひろば



<8月号>

Vo1. 032

7月2日の支部長会において平成18年度県内一斉、および全国一斉の調査用紙を配布させていただくと同時に調査協力をお願い致しました。その中で県内一斉調査については昨年引き続きネットからの報告をお願いさせていただくことになりました。ネット環境が利用できない調査票につきましては支部等で一括してご報告願えれば幸いです。

そして、県学薬が取り組んでいる「くすりのおはなし」については今年度、高校生版を作成するとともに、実際にデモ授業・講義を講習会等で実施する。第3部会（県立校）等で問題となっている各会員との連絡不備に関しては県学薬第3部会が連絡方法等について新たな対策をとることが提案されましたので、先生方にもご協力のほどよろしくお願い致します。

なお下記に、7月9日に秋田で行われた平成18年度健康・学校環境衛生講習会報告をさせていただきます。

【平成18年度健康・学校環境衛生講習会】

7月9日（日）秋田県総合保健センターにおいて平成18年度健康・学校環境衛生講習会が全国から約400名の会員の参加を得て開催されました。愛知県が今取り組んでいる「くすりのおはなし」について山形大学医学部附属病院薬剤部副部長豊口禎子先生の講義を基に、他県はどう考え取り組もうとしているのかを知るよい機会となりました。同時にランチョンセミナーでの奈良女子大学・大学院教授 高橋裕子先生の学校での禁煙指導。今、私たちができること、すべきことからは、今までの愛知県の取り組みをさらにより充実した活動にしていきたい思いを強くしました。

そして研究課題報告では愛知県から木全先生が研究発表を行われました。

なお、今回、愛知県からは築城・村松・加藤・木全の4名、名古屋市からは水野・樋口・小川の3名が参加しました。



<講義1>

「期待される学校薬剤師」

文部科学省スポーツ・青少年局健康教育課健康教育調査官 鬼頭 英明
薬物乱用防止教育、環境と健康に関する知識と理解について、医薬品に関する知識と理解及び正しい使い方などへの学校薬剤師の関わりについて現行の学習指導要領に合わせた解説及び指導であった。

<講義2>

「これからの健康教育が目指すべきもの」

東京大学大学院教育学研究科総合教育科学身体教育学教授 衛藤 隆
学校・家庭・地域の連携のもとに総合的に進めるヘルスプロモーションの考え方についての解説

ランチョンセミナーとして

1. 学校での禁煙指導 ー今、私たちができること、すべきことー

奈良女子大学・大学院教授 高橋 裕子

2. 夏場の脱水と水、電解質補給の重要ポイント

大塚製薬工場メディカルフーズ事業部 戎 五郎

<講義3>

「くすりの正しい使い方の指導方法」

山形大学医学部附属病院薬剤部副部長 豊口 禎子

少し専門性が高い内容で実際に小中学校へ出向いてのお話しではもう少し内容を押さえる必要があると思われた。が、非常に参考になる内容であった。

<講義4>

研究課題報告

1. 簡易測定器による換気量、換気回数の測定

東京都学校薬剤師会副会長 岸野 信子

2. 水筒水の細菌汚染原因の究明に関する研究

日本学校薬剤師会常務理事 石川 哲也

3. 検知センサーによるホルムアルデヒドの発生源の特定

愛知県学校薬剤師会専務理事 木全 勝彦



今回の研究課題に共通するものとして、主に教室内の空気に関しては様々な簡易測定機器を使用することで実際の指導助言に生かしていこうという取り組みが紹介されていた。具体的に1.では換気量を測定することで実際の教室の換気を指導できること。3.では発生源を特定することによって放散源を除去することが可能となるといった発表であった。